

避難生活の中で感じていること、困っていること。除染や賠償、村の事業などについて聞いてみたいこと。ジャンルは問いません。皆さんの声をお聞かせください。



阿部 猛さん(佐須)

村内で花き栽培を再開したいと希望しています。露地でできるリンドウなど、来年はできるところから始めていきたいですね。

復興対策課農政係では、営農再開を希望する農業者の皆さん一人ひとりにヒアリングを行い、営農計画や営農再開に必要な施設・機械等を取りまとめ、国・県の事業を効果的に活用するための準備を進めています。11月14日に村役場でヒアリングに出席した阿部さんは、避難先でも花き栽培を実施しており、「村との環境の違いを実感した」と話されていました。そのように技術の維持に努めていても、中断していた農地で営農を再開するには数多くの課題があります。必要な機械や資材を詳しく調べ、「できることから、早く始めたい。準備が整うまでは、畑の土づくりからでもやっていきたい」と意欲的に話す阿部さんに、頼もしさを感じ、また頭が下がる思いでした。村は、村民の皆さんや国・県の協力を得て実証栽培・試験栽培に取り組みながら、再開希望者の支援に力を注いでいます。再開はまだ検討中という方もぜひご相談ください。質問やお問い合わせは、復興対策課農政係 ☎ 0244(42)1621までお願いします。



大澤 和己さん(上飯樋)

10年前から届いた手紙は、いろいろなことを思い出させてくれました。本当にいい企画だと思えますね。新しいレターセットは、県外に住む娘にも送ります。

平成18年に村が募集した「10年後への手紙」で、ご家族それぞれに手紙を書いたという大澤さん。受け取ったご家族が、涙を流して読まれたと聞きました。新たに募集している「続・10年後への手紙」は、来年1月31日まで、村役場本庁・飯野支所・交流センター「ふれ愛館」の専用ポストで受け付けています(切手を貼って投函してください)。オリジナルレターセットも、本庁総務課企画係・飯野支所窓口で無料配布しています。切手シート(82円切手10枚で1シート/820円)の販売は、在庫がなくなり次第終了となります。手紙は、受け取る人のことを思いながら書くものです。あらためて人を思い、自分の気持ちに向き合う時間となることでしょうか。その思いに、10年の時を刻んでお届けします。皆さんもこの機会に、大切な誰かの未来へ手紙を出してみませんか。



いいたて 歳時記

その 20

「つめ」のならわし

年の暮れを「つめ」と言いました。つめになると、どこの家でも塩引き(塩漬けの鮭)を買いました。家によっては二俵ぐらい買いました。一俵に7、8本の塩引きが入っていました。買った塩引きは魚箱に入れて、塩を足しながら田植えの頃まで大事に使いました。また村では、塩引きを買うことを「俵であげる」と言いました。相馬や原町など浜の方から買い入れるので、このように言ったそうですが、「俵詰めにした塩引き買う」誇らしさも感じられる言い方ですね。

「つつこ」で納豆を作る「納豆ねせ」、仏様におはぎを供えて仏壇を閉じる「仏の年取り」、神々に供えるための「餅つき」、あるいは「すす払い」や「しめ縄飾り」など、師走は正月迎えの行事が続きました。さらに年の瀬が近づくと、正月用の反物を買い、夜わり仕事で着物を縫いました。新しい「つめ袋」も縫いました。つめ袋とは一升袋※1で、裏地をつけたよそゆき用も一つは作りました。年夜(大晦日)の晩は湯に入り、新しい下着・足袋・着物に着替え、新年を迎えました。



塩引きの鮭



誕生おめでとう

赤ちゃんの名前	親の氏名	行政区
鹿山 健真くん	真史・茉希子	深谷
金澤 莉愛ちゃん	勇次・さゆり	伊丹沢
菅野 陽葵ちゃん	佳祐・彩夏	比曽

すくすくと元気に育ってね



結婚おめでとう

氏名	出身地
佐藤 敬	草野
高野 智子	前田・八和木

いつまでもお幸せに



おくやみ

氏名	年齢	行政区
北山 ヨシイ	100	飯樋町
加藤 照男	76	上飯樋
佐藤 襄二	79	大倉
高橋 矢	87	蕨平
木幡 常治	102	小宮
堀江 謙治	64	大倉
赤石澤 王子	90	飯樋町
高橋 時男	80	前田・八和木
今野 尺	86	上飯樋
松田 忠雄	81	深谷

ご冥福をお祈り申し上げます

(10月21日から11月20日までに届け出のあったものを掲載) ※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

編集後記

はるばる宮崎県から子牛が到着したと聞き、山田長清さん(伊丹沢)の牛舎に写真を撮りに行きました。数日前に生まれた子牛も元気で「伊丹沢イチ」という名前がついていました。▼牛の名前は今まで山田姓だったが、今回は「な」。地域で最初の畜産再開を目指す長清さんの思いがにじみます。▼人懐こい宮崎ギャル(牛)は私のニオイと「味」を確かめてくれました。イチも頭をなでさせてくれました。「俺はよ、こうしているのが落ち着くよ。俺はな」。私も好きです、この時間▼営農再開ヒアリングで役場を訪れる皆さんも、苦労を苦情でこれからの語り方を。こんな風に生き方を見せられる人間に、私もいつかなれたらと思っこの頃です。(星)